

開催日時：令和2年8月4日（火）午前10時～12時

開催場所：伊勢市役所 東館5-3会議室

出席委員：市川知律会長、浦田宗昭委員、竹澤尚美委員、森見典子委員、川口幸生委員、大田桃子委員、中川佳代委員、三上政和委員（欠席：直江敦代委員、岡田まり委員）

事務局：伊勢市障害者総合相談支援センター フクシア（基幹型）職員2名

傍聴者：4名

各プロジェクトチームの共有・今後の検討

●地域生活支援拠点チームから最終提言書について

○概要版について情報共有を行った。内容については以下のとおり。

- ・親亡き後の課題や家族介護か施設入所しかないという地域の課題について
- ・チーム委員やチーム会議等の経過紹介
- ・整備に必要なものとして、「安心感」「チャレンジ」「人材」「地域の連携」の4つが必要

○地域支援拠点の5つの機能について、人員や事業所が十分でないので、どのように分担して機能させていくのか検討する必要がある。

○拠点運営について、事務局が必要になる。整備後に検証と改善ができる仕組みが必要。「官民協働で地域の支援体制を整備する」ことの再確認として、行政と民間の連携の必要性について、再確認。

【各委員より】

○提言書をもう少し見やすいように箇条書きにしたほうが良さそう。

○拠点の具体的内容は、あまり細かく表記せずにポイントを押さえた資料の方が良さそう。

●人材確保・養成チームからの報告

○中学生への福祉の仕事についての啓発（ビジネスパーク伊勢）について

- ・今年度はコロナで中止となった。ヘルパーの魅力について発信していきたい。
- ・ヘルパーの確保の問題で、介護だけでなく、障がいの事業所の人も対象にしてほしい。
- ・AIに関連付けて啓発を行っていくのも良いのではないかと。

●就労支援チームからの報告

○「準備期」「求職期」「定着期」における課題を再検討

○課題中の表記について、一部訂正を行う。

●障害福祉サービス事業所連携会議について

○日中活動系、児童通所系、訪問系、就労系の各グループから報告。内容は以下のとおり

- ・災害時の避難計画のように感染時の場合にも対策しておく必要がある。
- ・自粛時のオンライン療育や休止情報を他事業所と共有していきたい。
- ・発熱時の対応について、かかりつけ医への相談が基本的と共有
- ・在宅支援の内容について情報共有。感染症対策への具体的指示がほしい

○居住系、日中活動系、児童通所系、訪問系、就労系、相談支援系の各グループへのアンケートの回答について

- ・Web会議だと迅速に効率的に情報共有ができるので今後利用していきたい。

【各委員より】

○シミュレーションの共有については、コロナに特化したものは難しいため、共通のガイド

ラインができるといい。

○今後は、共通課題と個別課題に分類して解決策を模索していく必要がある。

●新型コロナ感染症への対応

○課題やニーズの取次ぎ事項について報告。内容については以下のとおり

- ・有益な情報が欲しい
- ・他事業所の状況や対応を知りたい
- ・保健、福祉、医療等で話し合いたい
- ・ほかのサービス種別の苦労や課題は見えにくい
- ・感染や感染疑い等の場合の対応指針や対応方法

○新型コロナに関する情報が多いので、市内事業所で共有できるものがあると良い

○研修会について、現在は開催が難しいため、他の方法で対応していきたい。

○情報を共有できる場として、市から HP かどこかに掲載してほしい。

●サービス事業所等連携会議・交流会

○基本的には Web 会議を主体として行っていく。講師等については、調整中。

○クラスター発生の危険性を考え、Web のみなら延期でもいいのでは。との意見。

●相談支援体制の検証

○基幹型の評価検証の方法について

- ・伊勢市独自の委託内容を含め、検討用セルフチェックシートについて修正をした。

○外部評価結果について、下記の項目について評価をいただいた

- ・相談支援、専門相談
- ・地域移行、地域定着
- ・地域の支援事業所

●第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画・障害者計画の策定について

○策定の主な事務については、別の部会が担っている。ただ、自立支援部会にも意見徴収させていただくかもしれない。

○自立支援部会に意見徴収を行う際には、事前に連絡して意見を出してもらえるようにする

●その他

○地域生活支援拠点アンケートの回収率は 67%

○施策推進協議会にも図りながら、市全体としてできる基盤を作っていきたい